

川崎市国際交流協会

令和2年度 事業報告書

事業年度 自 令和2年4月1日

至 令和3年3月31日

公益財団法人 川崎市国際交流協会

目次

I 諸外国の情報及び資料の収集・提供事業

- 1 情報サービス事業 - 1 -
 - (1) ハローかわさき発行事業 (1-9) - 1 -
 - (2) ホームページによる情報提供事業 (1-10) - 1 -

II 市民レベルでの国際交流に関する事業

- 2 国際交流事業 - 2 -
 - (1) ホームステイ受入事業 (1-7) - 2 -
 - (2) 市民交流団の派遣 (1-12) - 2 -
 - (3) ウーロンゴン大学等川崎研修の受入事業 (1-7) - 2 -
- 3 行事開催事業（主催公演事業） - 2 -
 - (1) インターナショナル・フェスティバルの開催 (1-8) - 2 -
 - (2) 多文化共生推進イベント (1-6) - 2 -
- 4 講座・研修の開催事業 - 3 -
 - (1) 地球市民講座の開催 (1-1) - 3 -
 - (2) 各種語学講座の開催 (1-1) - 3 -
 - (3) ボランティア研修会 (1-1) - 4 -
 - (4) 外国人市民のための講座 (1-1) - 5 -
 - (5) ふれあい交流会事業 (1-2) - 8 -
- 5 調査・研究事業 - 8 -
 - 調査研究事業 (1-3) - 8 -
- 6 外国人留学生修学奨励金支給事業 - 9 -
 - 外国人留学生修学奨励金支給事業 (1-4) - 9 -
 - (1) 奨励金支給 - 9 -
 - (2) 担当者への支給説明会 - 9 -
 - (3) 留学生への支給説明会・留学生交流会と情報提供会 - 9 -
 - (4) 留学生による川崎についての調査と発表、冊子の作成 - 10 -

III 民間国際交流団体及びボランティア育成事業

- 7 民間交流団体補助金の交付事業 - 10 -
 - (1) 民間交流団体国際交流事業補助金の交付 (1-5) - 10 -
 - (2) 国際交流民間団体の育成、支援 (1-5) - 11 -

■8 ボランティア活動推進事業	- 12 -
(1) ボランティア活動支援 (1-11)	- 12 -
(2) 国際理解教育支援 (1-11)	- 14 -
(3) 災害時外国人支援活動	- 14 -

IV その他の事業

■9 協会の設置目的に沿った事業	- 14 -
(1) 災害時多言語支援センター設置訓練	- 14 -
(2) インターンシップの受入	- 14 -
■処務事項	- 15 -

令和2年度公1事業報告書（川崎市国際交流協会事業）

（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

※事業名末尾の（ ）書きは県申請時の「公益目的事業について」の【事業の内容】の頭書番号です。

I 諸外国の情報及び資料の収集・提供事業

■1 情報サービス事業

(1) ハローかわさき発行事業（1-9）

市内在住の外国人に向けて、市政情報等を11言語（英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語、ポルトガル語、タガログ語、ベトナム語、タイ語、インドネシア語、ネパール語、日本語及びやさしい日本語）で提供した。

（発行） 6回発行（全言語で約40,000部）

（仕様） A4版両面印刷 <4、6、8、10、12、2月号>

（配布先）各区役所、市民館、公立学校、東京入国管理局横浜支局川崎出張所、県内各国際交流協会関連施設等外国人が立ち寄りそうな施設、機関を対象（約255ヶ所）

(2) ホームページによる情報提供事業（1-10）

センター・協会のホームページにより、市民及び外国人の国際交流に関する多様な情報を提供した。「多言語ブログ」（英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、スペイン語、タガログ語、ベトナム語、タイ語、インドネシア語、ネパール語、日本語及びやさしい日本語）によって、協会事業の広報及び川崎市近隣の生活情報等を発信した。

ホームページ URL <https://www.kian.or.jp/>

・アクセス件数 119,150件（1日あたり325アクセス）

・更新回数 3,763回

ア 川崎市国際交流協会について

国際交流協会案内 協会のイベント及び講座 協会が後援するイベント

ニュースレター 図書・資料室 国際交流事業への助成制度

イ 外国人への情報提供について

日本語講座 外国人窓口相談 生活情報

外国人留学生への助成制度 11言語での川崎市内のお知らせ

ウ 小学生への情報提供について

川崎市の外国人に関するデータ 姉妹友好都市

エ 川崎の魅力発信

外国人あるいは外国出身シェフのいるお店

オ その他

ボランティア活動 かわさき国際交流民間団体協議会

多言語ブログ（月平均1,052件のアクセス）

かわさきFMの活用

協会提供『世界の国からこんにちは』月1回第2土曜日

その他のメディアの活用

- ・ Facebook（フェイスブック）
- ・ 協働・連携ポータルサイト「つなぐっと KAWASAKI」
- ・ かわさきイベントアプリ
- ・ なかはらメディアネットワーク
- ・ かわさきの生涯学習情報
- ・ かわさき市民活動ポータルサイト「応援ナビかわさき」ほか

II 市民レベルでの国際交流に関する事業

■2 国際交流事業

(1) ホームステイ受入事業（1-7）

コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

(2) 市民交流団の派遣（1-12）

川崎市とイギリス・シェフィールド市の友好都市提携 30 周年を記念し、市民交流団を派遣する計画をしていたがコロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

代替事業として、川崎市とイギリス・シェフィールド市の友好都市提携 30 周年を記念し、イギリス在住のピアニスト小川典子氏を招聘し、イギリスの話を交えたピアノリサイタルを開催した。

（日時）令和 3 年 3 月 13 日（土）昼の部 14:30 開演、夜の部 19:00 開演

（会場）川崎市国際交流センター ホール

（参加者）昼の部 113 名、夜の部 88 名

(3) ウーロンゴン大学等川崎研修の受入事業（1-7）

オーストラリア・ウーロンゴン市のウーロンゴン大学日本語研修生の川崎研修は、ウーロンゴン大学側の諸事情によりホームステイによる受入れを中止した。

■3 行事開催事業（主催公演事業）

(1) インターナショナル・フェスティバルの開催（1-8）

下記のとおり予定していたが、コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

（日時）令和 2 年 7 月 5 日（日）

（会場）川崎市国際交流センター

（共催）かわさき国際交流民間団体協議会

(2) 多文化共生推進イベント（1-6）

ボッチャ協会から指導員を招いてボッチャ競技体験により留学生と交流する会を予定していたがコロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

■4 講座・研修の開催事業

(1) 地球市民講座「中村哲さんの生き方から学ぶもの」の開催 (1-1)

中村哲医師の生き様から自分ができることは何かを参加者が考えられるような講演会として中村哲医師に関わりのある方から話を伺った。

(日時) 令和3年3月20日(土) 14:00~16:00

(会場) 川崎市国際交流センター ホール

(内容) 中村哲医師の映像、中村哲医師のことばの朗読、中村哲医師と親交の深かったアフガニスタン前大使とアフガニスタン元現地スタッフからの話、追悼のさんさ踊り

(講師) アフガニスタン前大使

アフガニスタン元現地スタッフ

(参加費) 1000円

(参加者) 110名



(総括)

かわさき民間団体協議会との共催で、「中村哲さんの生き方から学ぶもの」と題し講座を行った。講演後、8割の方がアンケートを提出し、非常に多くのコメントが寄せられた。参加者が中村さんの生き方と自分自身の生き方を重ねて考えながら参加していたことが推察される。「外国人の課題や地球規模の課題について理解を深め、市民レベルで何ができるかを考える公開講座」という事業の目的を達成したと考えている。

(2) 各種語学講座の開催 (1-1)

上半期は、コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

下半期は、コロナウイルスの感染予防対策を行い開催した。

下半期受講者総数 (各語学講座 187名、こども語学教室 30名 合計 217名)

講座名	回数	回数	講師	受講者数
初級英会話 A	18回	毎火曜	桜美林大学講師	10
初級英会話 B	18回	毎木曜	玉川大学教授	16
初級英会話 C	18回	毎土曜	玉川大学教授	26
中級英会話 A	18回	毎金曜	語学講師	14

中級英会話 B	18 回	毎土曜	語学講師	24
英語で話そう	18 回	毎木曜	玉川大学教授	24
おもてなし英語	12 回	毎水曜	語学講師	16
英語でディスカッション (英検 2 級レベル)	12 回	毎火曜	語学講師	24
英語で学ぶイギリス音楽	18 回	毎水曜	関東学院大学講師	16
中国語入門	18 回	毎土曜	慶應義塾大学講師	19
フランス語入門	12 回	毎水曜	語学講師	12
韓国・朝鮮語 入門	18 回	毎火曜	慶應義塾大学講師	10
春休みこども英語教室 A	3 回		語学講師	9
春休みこども英語教室 B	3 回		語学講師	9
春休みこどもスペイン語教室	3 回		語学講師	12



(総括)

各語学講座は、コロナウイルスの影響で前期(4月～9月)は中止したが、後期(10月～翌3月)はコロナ対策を行いながら対面で講座を開催した。

コロナウイルスの影響で受講者数は例年よりも減少したものの、コロナ対策を行い、無事に後期講座を終えることができた。受講者からは、「楽しく勉強できた」「もっとコマ数を増やしてほしい」といった意欲的な感想もあった。

こども語学教室は、コロナウイルスの影響により夏休みこども語学教室を中止とした。春休みこども語学教室はスペイン語と英語クラスを開催した。講師には例年通り藤沢市教育委員会国際協力員、鎌倉市 ALT の語学講師を迎え、人気の講座となった。

(3) ボランティア研修会 (1-1)

ア ボランティア研修会

コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度は対面での開催では実施せず、オンラインで開催した。

(日時) 令和2年10月17日(土) 10:30～11:30

(内容) 多文化共生社会に向けての研修講座「インドネシアの生活習慣、文化などから学ぶ」

(講師) 当協会通訳・翻訳ボランティア

(参加費) 無料

(参加者) 40名

(総括)

協会としては、初めて ZOOM を使ったオンラインでの講座開催だった。講師がオンラインに慣れていたので、参加者を飽きさせない内容で、参加者それぞれとやりとりができるクイズや質疑応答があり、とても有意義な研修会となった。「新型コロナウイルス感染拡大で、海外旅行ができない時期に外国の話を知ることができてよかった」という意見が多数あった。今後も楽しく交流ができるようなオンラインの企画を考えていきたい。



イ 「やさしい日本語」研修会

当初 5 月の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大のため延期とし、次の日程で開催した。

(日時) 令和 2 年 12 月 5 日 (土) 13:00~15:00

12 月 25 日 (土) 13:00~15:00

(会場) 川崎市国際交流センター 団体活動ルーム

(内容) 多言語情報誌「ハローかわさき」と多言語ブログの日本語原稿からやさしい日本語への書き換え作業

(対象) 「やさしい日本語」に関心があるボランティア登録希望者

(講師) 国際交流基金日本語国際センター 専任講師

(参加費) 無料

(参加者) 延べ 48 名

(総括)



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5 月の開催予定が 12 月の開催となった。「やさしい日本語研修会に参加したい」という声を受け、2 年ぶりに新しい方を対象に研修会を行った。とても熱心な参加者が多く、いろいろな質問が出て有意義な質疑応答ができた。新規にやさしい日本語ボランティアに登録した方は、その後の活動にも参加している。来年度は、現在活動しているボランティアと新規に登録したボランティアの方々が連携できるようなブラッシュアップの研修を行いたい。

(4) 外国人市民のための講座 (1-1)

外国人市民が日本で生活を築く上で必要な、住居や教育などの情報を提供することで、多文化共生社会実現の支援となるよう、説明会や講座を開催した。

ア 外国人のための「市営住宅申込書の書き方」説明会

(日時) 令和 2 年 9 月 12 日 (土) 10:00~12:00

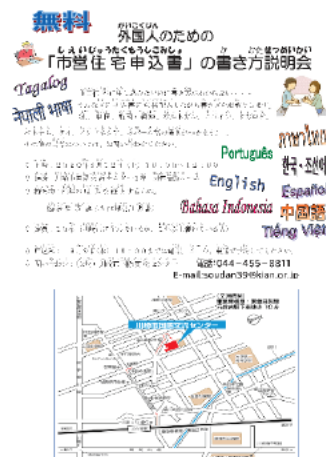
(会場) 川崎市国際交流センター 団体活動ルーム

(参加者) 市民 12名

(参加費) 無料

(総括)

外国人市民を対象に、市営住宅申込の基準や申請書の記入方法等についての説明会を実施した。「現在住んでいるアパートから近いところ」「現在より広いところ」「子供の学校の近いところ」等、ライフスタイルに関係する希望をベースにした物件選びのサポートをし、また申込みの条件とされる収入基準に照合した所得額の検証など、申請書を投函できる状態まで作成する支援を行った。



イ 日本語を母語としない人たちのための高校進学ガイダンス

(日時) 令和2年10月17日(土) 14:00~16:00

(会場) 川崎市国際交流センター ホール

(参加者) 50名(中学生12名とその保護者・中学教員2名、高校教員1名、Me-net6、行政書士2名)

(通訳者) 通訳ボランティア10名(中国語4名、タガログ語2名、ネパール語2名、タイ語1名、英語1名)

(参加費) 無料

*コロナウイルス感染防止対策のため、参加人数を制限



(総括)

外国につながりを持つ中学生と、その保護者のための進学相談会を実施した。

予約時に、希望の通訳言語や入手したい情報の内容(受験資格相談、総合相談、制度相談、高校紹介、高校入学後のVISA)を事前に確認し、有意義なガイダンスとなるよう情報準備の支援をした。夜間中学校の生徒や教師の参加により現状を学ぶ機会もあり、ガイダンス後には夜間中学校訪問による周知活動も実施した。高校進学に不安があった中学生や保護者に、将来への希望を持ってもらう機会となった。

ウ 外国人のための就職セミナー

(日時) 令和2年11月28日(土) 10:00~12:00

(会場) 川崎市国際交流センター 団体活動ルーム

(参加者) 12名

(参加費) 無料

(総括)

コロナ禍で深刻な状況にある外国人市民の就職を支援する為、外部から外国人講師を招き、日本での就職活動に必要な知識やマナーを身につけるセミナーを実施した。講師自身の経験や、面接デモンストレーションを交え、また、参加者に外国人としてのメリットを生かす方法なども分かり易く説明するなど、就職活動にすぐ活用できるセミナーとなった。



エ 外国につながる子どものための小学校入学説明会

(日時) 令和3年1月31日(土) 13:30~16:00

(会場) 川崎市国際交流センター レセプションルーム

(内容) 市立小学校校長OBによる本市の小学校の説明(協会オリジナルガイドブックとスライドによる)、先輩外国人保護者との座談会と質疑応答

(参加者) 25名

(参加費) 無料

(総括)

小学校入学説明会では、DVDによる視覚資料も交えて元小学校校長からの小学校生活の一日の紹介をし、また、「学校に持っていく物、行かない物」なども、絵を使って分かり易く説明するなど、入学への不安を楽しみや希望に変えてもらえるよう努めた。先輩外国人保護者との座談会では、具体的な質問や、経験談を交えたアドバイスなどが活発に飛び交った。参加者には寄付されたランドセルや学用品等を無償で提供した。



(5) ふれあい交流会事業 (1-2)

外国の料理を作りその国の文化紹介をするなど、料理や語らいを通じて国際理解を深める市民交流会。

ア インドネシア料理

(日時) 令和3年2月27日(土) 11:00~12:30

(会場) 川崎市国際交流センター料理室(料理動画撮影時)

団体活動ルーム(ZOOM オンライン配信時)

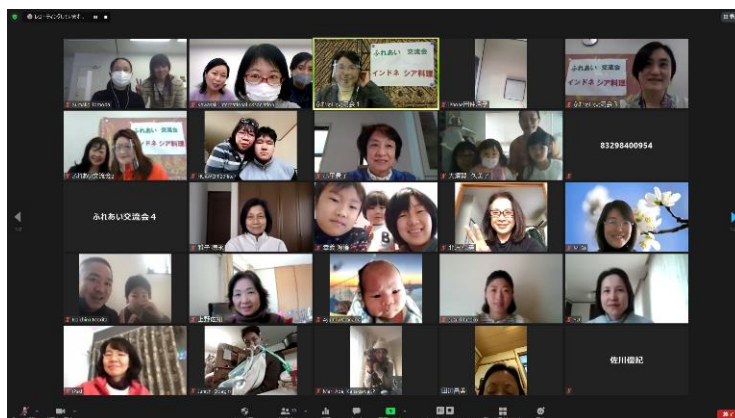
(メニュー) ナシゴレン(インドネシア風炒飯)、インドネシア風かき揚げ、エビせんべい、インドネシア風ウコンスープ、バナナ入りココナッツミルクのデザート

(講師) インドネシア人講師 1名 インドネシア人相談員 補佐

(参加者) 29名

(総括)

コロナウイルス感染拡大防止のため、通常は調理参加型の交流会を、今回は ZOOM によるオンライン交流会として実施した。日本でも入手可能な材料で事前に撮影したインドネシア料理の調理風景を流し、質疑応答を実施した。また、インドネシアの地理や文化、暮らしについても画像や映像、音楽などで紹介し、インドネシア文化の理解を深めた。



■5 調査・研究事業

調査研究事業 (1-3)

介護を必要とする外国人高齢者の現状について、川崎市高齢者事業推進課や介護の現場で活躍しているケアマネージャー、ヘルパー、介護施設経営者、多文化共生課職員を交えて意見交換会を実施した。

(日時) 令和3年3月26日(金) 10:00~12:00

(会場) 川崎市国際交流センター 団体活動ルーム

(内容) 介護を必要とする外国人高齢者の現状についての状況説明や意見交換を実施。

(参加者) 11名(高齢者事業推進課3名、介護士3名、当協会職員等5名)

■6 外国人留学生修学奨励金支給事業

外国人留学生修学奨励金支給事業（1-4）

（1）奨励金支給

川崎市在住の外国人留学生に対し修学奨励金を支給し、経済的負担を軽減することによってその修学環境の向上を図り、「地域の国際化」に貢献する留学生の育成に寄与することを目的とする。

（支給資格）

- ア 出入国管理及び難民認定法に規定する「留学」の在留資格を有する者
- イ 住民基本台帳法の規定により本市に登録し、現に居住している者
- ウ 学校教育法に規定する大学、高等専門学校又は専修学校の専門課程に在学する者
- エ 川崎市内の大学等に在学する者
- オ 国費外国人留学生に該当しない者
- カ 学業、人物ともに優秀で、大学等から推薦を得られる者
- キ 地域の国際化、特に川崎市の国際交流活動に参加または協力のできる者

（支給期間）令和2年4月～令和3年3月

（支給者数）前期29名、後期28名

（支給金額）1人あたり 100,000円/年

（支給校数）9校

（2）担当者への支給説明会

（日時）令和2年4月8日（水）10:30～11:30

（会場）川崎市国際交流センター レセプションルーム

（参加）大学3校、専門学校3校

- （内容）・川崎市外国人留学生修学奨励金支給事業の趣旨及び目的について
- ・申請等の事務手続きについて
 - ・奨励金の使途、国際交流活動への参加協力の報告
 - ・担当者情報交換

（総括）

外国人留学生修学奨励金支給に際し、大学や専門学校の担当者に、留学生の奨励金使途ならびに国際交流活動の報告等を活用し、事業趣旨の理解を深めるとともに、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、変更となった手続きのスケジュールや留学生の活動内容等について説明した。

（3）留学生への支給説明会・留学生交流会と情報提供会

（日時）令和2年7月11日（土）10:00～12:00

（会場）川崎市国際交流センター レセプションルーム

（参加者）28名

- （内容）・川崎市外国人留学生修学奨励金支給事業の趣旨及び目的について
- ・国際交流センター及び国際交流協会の施設及び活動について
 - ・国際交流などのボランティア活動への参加について
 - ・留学生情報提供（滞在生活や社会人として必要となること等のアドバイスなど）
 - ・留学生交流会（グループワーク）

(総括)

外国人留学生修学奨励金の受給者に対し、説明会を実施した。その中で支給事業の趣旨を説明するとともに、協会事業を紹介し、新型コロナウイルス感染拡大の状況の中でも可能な、国際交流活動およびボランティア活動への参加について説明を行った。オンライン授業が進む中、コロナ対策を行いながら、対面で説明会を行うことで、留学生同士の交流の機会となった。

(4) 留学生による川崎についての調査と発表、冊子の作成

(調査目的) 来年以降それぞれの国から留学してくる留学生への手紙・伝言として、テーマを設定し、グループ毎に調べた。

(発表) 事業名：留学生と交流する会

(日時) 令和2年11月28日(土) 14:00~15:30

(会場) ZOOMによるオンライン

(参加者) 28名

(冊子作成) グループ毎に調べた内容を「バトンパス これから川崎にくる留学生へのメッセージ」と題した冊子としてまとめ発表した。また、来年度の外国人留学生修学奨励金受給生に配布予定。



Ⅲ 民間国際交流団体及びボランティア育成事業

■7 民間交流団体補助金の交付事業

(1) 民間交流団体国際交流事業補助金の交付 (1-5)

(目的) 市内の民間交流団体が行う国際交流事業を支援し、民間レベルでの国際交流活動を促進するため、補助金交付を行う事業。

(対象となる団体)

- ア 団体の事務所が川崎市内にあり、主たる活動の場が川崎市内であること
- イ 団体の事業活動は、一般市民を対象とすること
- ウ 代表者、副代表者及び役員等、団体の主たる構成員が川崎市内在住、在勤または在学者であること
- エ 原則として5年以上の活動実績があること
- オ 団体の運営に際し、目的、組織、代表者等について必要事項の定めがあること

カ その他会長が特に認めるもの

(交付団体) 0 件。コロナウイルス感染拡大防止のため、海外渡航による国際交流、および国内での交流事業を行うことが難しく、相談はいくつかあったが、申請には至らなかった。

(2) 国際交流民間団体の育成、支援 (1-5)

川崎市内の国際交流民間団体により組織された「かわさき国際交流民間団体協議会」に対し、その運営及び活動の支援を行った。

ア かわさき国際交流民間団体協議会への登録

登録数 61 団体 (令和3年3月末現在)

イ かわさき国際交流民間団体協議会への活動支援

(ア) 会議の開催

総会 コロナウイルス感染拡大防止のため、書面評決とした。

運営委員会

第1回運営委員会 令和2年7月7日(火)

第2回運営委員会 令和2年8月18日(火)

第3回運営委員会 令和2年11月12日(木)

第4回運営委員会 令和3年3月9日(火)

(イ) ミニ交流会

下記のとおり予定していたが、コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

(日時) 令和3年1月9日(土)

(会場) 川崎市国際交流センター ホール

(内容) 和太鼓祭音・平間わんぱく少年団による活動紹介と演奏・体験

(出演) 和太鼓祭音、平間わんぱく少年団

(主催) かわさき国際交流民間団体協議会 / 公益財団法人川崎市国際交流協会

(ウ) 地球市民講座「中村哲さんの生き方から学ぶもの」の開催 (1-1) 再掲

中村哲医師の生き様から自分が市民レベルとしてできることは何かを参加者自身が考える講演会として中村哲医師に関わりのある方から話を伺った。

(日時) 令和3年3月20日(土) 14:00~16:00

(会場) 川崎市国際交流センター ホール

(内容) 中村哲医師の映像、中村哲医師のことばの朗読、中村哲医師と親交の深かったアフガニスタン前大使と元現地スタッフからの話、追悼のさんさ踊り

(講師) アフガニスタン前大使

アフガニスタン元現地スタッフ

(参加者) 110名

(総括)

かわさき国際交流民間団体協議会と(公財)川崎市国際交流協会の共催で、「中村哲さんの生き方から学ぶもの」と題し講座を行った。講演後、8割の方がアンケートを提出し、非

常に多くのコメントが寄せられた。参加者が中村さんの生き方と、自分自身の生き方を重ねて考えながら参加していたことが推察される。「外国人の課題や地球規模の課題について理解を深め、市民レベルで何ができるかを考える公開講座」という事業の目的を達成したと考えている。

(エ) かわさき国際交流民間団体協議会ニュースの発行

第 37 号 (令和 2 年 4 月 1 日発行)

第 38 号 (令和 2 年 9 月 1 日発行)

第 39 号 (令和 3 年 1 月 1 日発行)

(オ) 各種事業の共催及び後援による活動支援

国際交流団体等からの申請により、当該団体の活動を支援した。

共催: 2 事業 後援: 6 事業

■8 ボランティア活動推進事業

(1) ボランティア活動支援 (1-11)

協会等が実施する事業に対し、あらかじめボランティアとして登録した市民等が通訳・翻訳などの活動を行うことにより、市民レベルでの国際交流の促進を図る。

ア ボランティア登録

各種ボランティア登録総数 1,314 個人・家庭 (重複を含む、令和 3 年 3 月 31 日現在)

(内訳)

(ア) 通訳・翻訳ボランティア 395 名 (23 言語)

言語	人数	言語	人数
英語	158	ラオス語	2
中国語	81	モンゴル語	3
スペイン語	25	マレーシア語	2
ポルトガル語	17	ペルシャ語	2
韓国・朝鮮語	22	ベンガル語	3
タガログ語	17	ウルドゥー語	2
ベトナム語	18	ネパール語	3
ロシア語	9	カンボジア語	1
フランス語	8	ポーランド語	1
タイ語	7	アラビア語	1
ドイツ語	6	シンハラ語	1
インドネシア語	6		

(イ) ホームステイボランティア 182 家庭

(ウ) ホームビジットボランティア 111 家庭

(エ) 日本語講座ボランティア 103 名

(オ) 国際理解教育支援ボランティア 79 名

(カ) 一般ボランティア	359 名
(キ) 保育ボランティア	34 名
(ク) 編集ボランティア	20 名
(ケ) やさしい日本語ボランティア	31 名
(コ) 災害ボランティア	140 名(重複)

イ ボランティアの活動状況

(ア) 通訳…………… 延べ 127 名 127 件

タガログ語	36 名
英 語	35 名
中 国 語	27 名
ベトナム語	8 名
スペイン語	7 名
ポルトガル語	5 名
タ イ 語	3 名
ネパール語	3 名
ロ シ ア 語	1 名
ビ サ ヤ 語	1 名
韓国・朝鮮語	1 名

(イ) 翻訳…………… 延べ 294 名 294 件

やさしい日本語	154 名
タガログ語	17 名
英 語	16 名
中 国 語	16 名
ベトナム語	16 名
スペイン語	15 名
ポルトガル語	14 名
韓国・朝鮮語	13 名
ネパール語	11 名
タ イ 語	7 名
インドネシア語	6 名

(ウ) ホームステイ…………… 受入人数 0 名 受入家庭 0 家庭

(エ) ホームビジット …………… 受入人数 0 名 受入家庭 0 家庭

(オ) 日本語講座ボランティア …………… 延べ 44 名 実働 21 名

(カ) 一般ボランティア

イベント及び講座補助、季刊誌取材編集等 延べ 1052 名 56 件

(2) 国際理解教育支援 (1-11)

市内小・中学校の依頼に基づき、総合的な学習の時間の英語活動や国際理解教育へ外国人市民を派遣し、また、要請により学校へ民族衣装の貸し出しも行った。

ア 英語活動、国際理解教育、語学講座への講師派遣

市内小学校他 延べ 55 名 144 件



(3) 災害時外国人支援活動

ア 川崎市国際交流協会が主催し、外国人市民とともに防災訓練を実施

(ア) 外国人参加の防災訓練

令和3年2月に実施予定であったが、コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

IV その他の事業

■9 協会の設置目的に沿った事業

(1) 災害時多言語支援センター設置訓練

(日時) 令和2年11月29日(日) 9:30~12:00

(会場) 川崎市国際交流センター

(内容) 災害時の外国人支援のイメージを明確にすることを目的に、外国人市民や町内会、関係団体と連携したロールプレイングを実施した。

(参加者) 82名



(2) インターンシップの受入

地域における国際交流、多文化共生の推進に向け、「2020 インターナショナル・フェスティバル in カワサキ」において、田園調布学園大学とインターンシップの受入について協議してきたが、コロナウイルスの感染拡大防止のため、令和2年度のインターナショナル・フェスティバル(7月5日開催予定)を中止としたため、インターンシップの受入については見合わせることにした。

■ 処務事項

1 役員に関する事項

役員等の人数：理事7名、監事2名、評議員6名

2 役員名簿

(令和3年3月31日現在)

	氏名	所属等
代表理事 会長	平尾 光司	昭和女子大学 名誉理事
代表理事 常務理事	北沢 仁美	公益財団法人川崎市国際交流協会 事務局長
理事	佐々木 重人	専修大学 学長
理事	青木 茂夫	一般社団法人川崎市観光協会 専務理事
理事	澄川 圭	弁護士
理事	橋本 夏代	かわさき市民放送株式会社 代表取締役社長
理事	上林 千恵子	元 法政大学社会学部 教授
監事	内田 衛	川崎信用金庫 常務理事
監事	小澤 裕司	東京地方税理士会川崎南支部 支部長

※第5期役員任期：令和2年度の定時評議員会で選任後、2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

3 評議員名簿

(令和3年3月31日現在)

	氏名	所属等
評議員	伊藤 博	モトスミ・ブレーメン通り商店街振興組合 理事長
評議員	高島 厚子	東京衣裳きもの学院 学院長
評議員	谷本 通安	日本ボーイスカウト連盟川崎地区協議会 顧問
評議員	内藤 幸彦	川崎 JICA ボランティアの会 会長
評議員	吉田 聖子	公益社団法人日本語教育学会会員 地域日本語教育専門人材育成コーディネーター
評議員	ルース・ファロン	公益財団法人川崎市国際交流協会 語学講座（英語）講師

※第3期評議員任期：令和2年度の定時評議員会で選任後、4年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

4 理事会の開催

(会場) 川崎市国際交流センター 特別会議室

会議名	審議及び議決事項
第1回理事会 【書面決議】 令和2年5月29日（金）	議決事項 議案第1号 平成31年度事業報告について 議案第2号 平成31年度決算報告について

	議案第 3 号 第 5 期役員候補者(案) について 議案第 4 号 令和 2 年度定時評議員会の招集について 議案第 5 号 令和 2 年度収支予算の補正について
第 2 回理事会 令和 2 年 6 月 15 日 (月)	議決事項 議案第 1 号 公益財団法人川崎市国際交流協会会長の選定について 議案第 2 号 公益財団法人川崎市国際交流協会常務理事の選定について
第 3 回理事会 【書面決議】 令和 3 年 1 月 13 日 (水)	議決事項 議案第 1 号 基本財産の運用について
第 4 回理事会 【書面決議】 令和 3 年 3 月 19 日 (金)	議決事項 議案第 1 号 令和 3 年度事業計画について 議案第 2 号 令和 3 年度収支予算について 議案第 3 号 令和 3 年度資金調達及び設備投資の見込みについて

5 評議員会の開催

(会場) 川崎市国際交流センター 特別会議室

会 議 名	審 議 及 び 議 決 事 項
定時評議員会 令和 2 年 6 月 15 日 (月)	議決事項 議案第 1 号 任期満了に伴う理事 7 名の選任について 議案第 2 号 任期満了に伴う監事 2 名の選任について 議案第 3 号 任期満了に伴う評議員の選任について 議案第 4 号 平成 31 年度決算報告について

6 収支状況

(1) 収入	37,726,373 円 (H31 43,308,433 円)
ア 基本財産運用益	2,387,704 円 (H31 2,436,570 円)
イ 受取会費	210,000 円 (H31 18,000 円)
ウ 事業収益	6,162,167 円 (H31 13,357,720 円)
エ 受取補助金等	26,004,000 円 (H31 26,749,447 円)
オ 受取負担金	0 円 (H31 45,680 円)
カ 受託事業収益	2,865,720 円 (H31 606,960 円)
キ 雑収益	96,782 円 (H31 94,056 円)
(2) 支出	38,549,563 円 (H31 43,231,863 円)
ア 情報サービス事業	1,092,329 円 (H31 1,049,652 円)
イ 国際交流事業	0 円 (H31 622,678 円)
ウ 行事開催事業	0 円 (H31 997,486 円)

エ 講座・研修事業	4,052,195 円 (H31 6,557,658 円)
オ 調査・研究事業	32,848 円 (H31 20,000 円)
カ 外国人留学生修学奨励金支給事業	2,908,329 円 (H31 3,012,394 円)
キ 民間交流団体補助金の交付事業	0 円 (H31 527,668 円)
ク ボランティア活動推進事業	175,744 円 (H31 206,563 円)
ケ 事業人件費	6,618,277 円 (H31 6,485,244 円)
コ 人件費	18,468,060 円 (H31 18,606,379 円)
サ 一般管理費	3,397,041 円 (H31 4,615,751 円)
シ 受託事業	1,804,740 円 (H31 530,390 円)

(3) 収支差額

「収入 (37,726,373 円) - 支出 (38,549,563 円) = △823,190 円」については、繰越金を充当

6 賛助会員の加入状況

当初目標値 (予算額) 200千円に対し、210千円の賛助会費を確保することができた。

(1) 団体会員 (1口 10,000 円)

9 団体 9 口 90,000 円

(2) 個人会員 (1口 3,000 円)

33 名 40 口 120,000 円

7 職員の研修参加状況

研修内容	期 日	参加人数	主 催
新任経理担当者がまず初めに知りたい基礎知識	7月17日	1名	全国公益法人協会
ZOOM 研修	7月22日	2名	川崎市消費者行政センター
Facebook 講座	8月6日~9月2日 (のべ7日間)	14名	公益財団法人川崎市国際交流協会
外国人相談窓口の運営	8月12~14日	1名	公益財団法人全国市町村研修財団
かしこい消費者講座 キャッシュレス社会をスマートに	9月8日	2名	川崎市消費者行政センター
外国人のための市営住宅申込書書き方事前説明会	9月8日	12名	川崎市住宅供給公社
「公立高校入学のためのガイドブック」をもとに通訳内容の研修	9月29日	14名	公益財団法人川崎市国際交流協会
入国管理局オンライン研修	10月5日~7日 (のべ3日間)	計20名	法務省入国管理局

ZOOMによるオンライン講座運営研修	10月13日	18名	公益財団法人川崎市国際交流協会
災害時における外国人への支援セミナー	10月12日～14日	1名	公益財団法人全国市町村研修財団
在留資格について	10月27日	11名	法務省入国管理局
スピーディーな理事会等の運営方法	11月11日	1名	全国公益法人協会
発達障害×外国にルーツをもつ子ども	11月21日	10名	発達障害情報リハビリテーションセンター
外国につながる子ども支援	11月29日	2名	つづき MY プラザ（都筑多文化・青少年交流プラザ）
災害時外国人支援研修 2020	12月9日	3名	公益財団法人かながわ国際交流財団
在宅ワーク導入時に克服すべき課題	1月14日	2名	全国公益法人協会
収支相償の計算と最新実務	1月19日	1名	全国公益法人協会
東京法務局人権擁護部研修	2月2日	9名	法務省入国管理局
相談員に対するカウンセリング	2月3日	8名	法務省入国管理局
年金制度、雇用保険制度	2月4日	7名	法務省入国管理局
相談員心理研修	2月16日	12名	公益財団法人川崎市国際交流協会